

## 2013年度 第5回事務局会議まとめ

札幌エルプラザ 2階消費者サロン 2  
泉・遠藤・工藤・篠原・白倉（敬称略）

## 議題

1. 札幌市議会決算委員会傍聴報告
2. 2013年度北海道自主夜間中学交流会の記録集発行について
3. 全夜中研（奈良大会）参加について
4. その他 次回事務局会議の日程

## 1. について

10月16日に開かれた札幌市議会の第一決算特別委員会において、8番目に公明党の谷澤さん、10番目に市民ネットの小倉さんが夜間中学について質問を行い、工藤・白倉さんが傍聴してくれました。

その報告が資料1、国・政府「教育振興計画」（閣議決定）（2013. 6.16）、資料2札幌市「新たな『札幌市教育振興計画』策定にあたっての基本的考え方」「教育を取り巻く現状と課題」「札幌市教育ビジョン」に基づいて話されました。

（要点1）市教委各議員ともに札幌遠友塾の存在を前提として話を進めていた。（ようやく市民権を得たという思いがあるが、これからも油断なく認知してもらう持続的な活動が必要）

（要点2）谷澤議員の質問

・川北小学校における浅野さんの通学と学習が、本人及び学校側と双方ともにプラスの効果を上げていると評価してくれた。ただし、市教委としては生涯学習の中の個別事案として対応したとの答弁。（要点3の第1の指摘に対する市教委反応をこちらにうつしている）

・市議会での全会一致による国への『意見書』の実績を強調。

・公立夜間中学をつくれぬネックはどこかという質問をした。市教委の、プライバシーに関することなので需要（ニーズ）の事前調査ができないという回答に対して、現に一人でも二人でもニーズがあれば調査などしなくても開設するような、もっともっとフレキシブルな制度設計をすべきと迫る。

（要点3）小倉議員の質問

・札幌遠友塾に対する誰でもが学び直しができるという安心感を与えているという評価を述べた。

・国の資料には「学びのセーフティ・ネット」の項目の中で「義務教育修了の学齢超過者の学び直しのための夜間学級への支援が挙げられているが、それを受けて札幌市の対応はどうか」と質問。市教委は「『札幌市の基本計画』の中には、直接夜間中学を書いてはいないが、子どもが対象として書かれているが、広い意味で含まれると考えている」と回答。

## 2. について

第1次原稿の校正が終わり完成したので、印刷・発行・発送の計画をする。

○日時：12月2日（月） 11：00～15：00 印刷 泉、他

15：00～17：00 製本

当日来られるスタッフ全体に呼びかける

○場所：札幌エルプラザ 2階 印刷室及び2階会議コーナー（18人用）

○発行部数：1000部 用紙購入は泉、他、 保管は工藤、発送は篠原（旭川100部 釧路80部） 函館100部は今西さんが泉さんの家に取りに来る。

## 3. について

北海道に夜間中学をつくる会参加者：札幌—工藤（発表）・遠藤・森川の3名。釧路から賀根村（発表）。函館から東海林（発表） 合計5名

## 4. について

次回事務局会議は11月28日（木）18：30～札幌エルプラザ2F打ち合わせコーナー  
（泉が場所を確保します）